

第95回企画展「第19回友の会展」開催中！

友の会員と市民が我孫子市全域で行った「ツバメの巣の調査」の結果を、過去の調査と比較しました。巣材が集めやすく、子育ての餌が豊富で、優しく見守る人の街「我孫子」はツバメの多い街と思われましたが、最近はツバメの数が減少し、その理由を考察しました。

デジカメ、鳥絵、みて歩こう、万葉集、七十二候の各同好会の活動を展示します。

展示期間：2025年12月13日(土)～2026年2月8日(日)



企画展ポスター

イベント情報

あびこ自然観察隊「観察しよう！手賀沼の冬鳥」のご案内

「観察しよう！手賀沼の冬鳥」は手賀の丘の森から手賀沼湖畔までを歩き、山野と水辺の鳥の両方を楽しめる観察会です。やさしい自然解説で、子どもから大人まで楽しめます。ぜひご参加ください。

詳細は手賀の丘青少年自然の家のウェブサイトのイベント案内のページをご覧ください(https://www.tega.jp/event_list)。

開催日時：2026年2月15日(日) 9:00～12:00



冬鳥のミコアイサ

利用案内

●開館時間 午前9時30分～午後4時30分
(最終入館午後4時)

●休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）、館内整理日、年末年始（12/29～1/4）

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	500円	
	高校生・大学生	400円	

- ・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方（介助者1名まで）
- ・入館料免除の対象の方は証明できるものをご提示ください
- ・中学生以下は入館無料

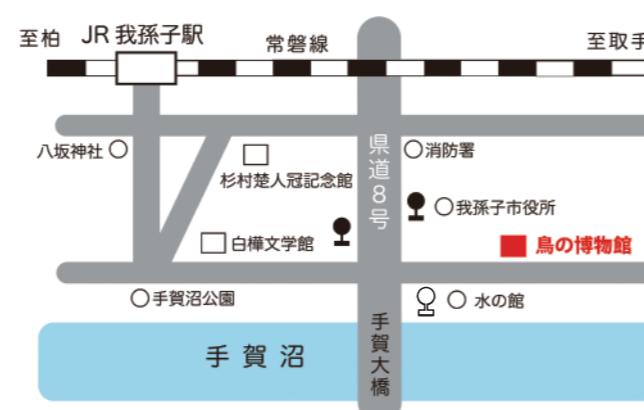
*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ：我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639 ↑博物館HP

交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由
バスで「市役所」下車、徒歩5分
天王台駅北口バス停より、アイバスで「水の館」下車（平日のみ運行）
自動車利用の方は地図をご覧下さい（駐車場無料／大型バス駐車可）



あびこ鳥だより

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.68

2025
No.2



・特集「竹を活用したイベントのご案内」

・手賀沼の鳥類調査結果

・第95回企画展「第19回友の会展」開催中！

・あびこ自然観察隊「観察しよう！手賀沼の冬鳥」のご案内

表紙の鳥 アカヒゲ

「竹を活用したイベントのご案内」

「いまは昔、竹取の翁といふもの有けり…」。日本で最古の物語とも言われる「竹取物語（かぐや姫）」の冒頭です。千年以上前の作品にも登場する竹は、昔から私たちの生活に利用されてきた植物のひとつです。タケノコは食用にされ、成長したものは建築材、生活用品、漁具や農具など様々な分野で利用されてきました。しかし、近年では竹の需要の減少によって、管理されない竹林が拡大して農地や住宅地の妨げになったり、本来の植生に影響を及ぼしたりすることが度々話題になります。

竹は節ごとに成長点があり、一気に伸びるので、成長が早い植物です。また、広い範囲に地下茎を広げて増えるため、毎年伐採を行わないと竹林が密になってしまふので、タケノコの収穫や冬の間伐など継続して通年の管理が必要です。博物館の裏山にも竹林があり、放置していると敷地の思わぬところに立派な竹が生えてくることがあります。

裏山の竹を伐採している時に、竹を博物館のイベントに活用できなかと思いついたのが今から3年ほど前のことでした。イベントを企画するなら竹が身近な植物であり、日常で使えるものだと感じてもらえるように、カゴやザルなどの日用品作りから始めることにしました。早速、竹ひごを作つてみよう調べてみると、裏山の竹はモウソウチクで、竹細工に主に使われているのは、より弾力性があるマダケということが分かりました。そこで我孫子市内のマダケが生えている林を見つけて竹を伐採して、竹ひご作りが始まりました。

現在、鳥の博物館では竹を使ったイベントを年に4回開催しています。季節を感じる竹細工を意識して、夏は蕎麦や冷たい麺にぴったりなザル、果物の季節の秋はカゴ、冬は鍋物に活躍する鍋敷き作りを企画しました。春は野外で行うものを実施しようと考え、春といえばやはりタケノコが一番に思い付きましたが、周辺には博物館で使えるタケノコ掘りができるような大きな竹林はありません。そこで「食」をテーマに、竹筒を使ってお米を炊くイベントを企画しました。春になると竹は成長のために水分をたくさん吸収するようになります。竹のほのかな青い香りがするお米を参加者の皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。

鳥の博物館では今後も、竹を活用した様々なイベントを企画する予定です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。



竹筒でお米を炊こう(3月)



ハチクの竹林



竹ザル(6月)



六つ目編みの竹カゴ(9月)



竹の鍋敷き(12月)

科名	種名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
カモ科	ハシビロガモ				1				1
	オカヨシガモ							2	2
	ヨシガモ							3	3
	ヒドリガモ					2	103	204	309
	カルガモ	12	4	32	65	245	264	229	851
	マガモ					161	885	557	1603
	オナガガモ				3	2	26	31	
	コガモ				21	244	119	89	473
	ホシハジロ			1		1	6	1	9
	キンクロハジロ						1		1
	スズガモ					2			2
	ミコアイサ						1	7	8
	カモ科雑種							1	1
クイナ科	クイナ					11	1		12
	オオバン						92	39	131
	ヒクイナ					2		1	3
カツブリ科	カツブリ	4	5		7	34	37	32	119
	カンムリカツブリ			11	2	23	204	93	333
	ミミカツブリ							1	1
	ハジロカツブリ					1	30	22	53
セイタカシギ科	セイタカシギ					1			1
シギ科	イソシギ					1			1
カモメ科	ユリカモメ				8	1	49	162	220
	セグロカモメ					1	5	3	9
	アジサシ				5				5
	クロハラアジサシ						1		1
ウ科	カワウ	61	58	74	16	71	95	248	623
サギ科	ゴイサギ				10	1	3	16	30
	アオサギ	2	11	12	12	13	27	23	100
	ダイサギ	3	6	18	17	23	10	11	88
	チュウサギ	1		4	1	17			23
	コサギ		3	7	13	25	21	13	82
	ミサゴ		1			2	2	3	8
タカ科	トビ					2	4	4	12
カワセミ科	カワセミ		2	1	3	5	4	4	19
カラス科	ハシボソガラス			7		3	9	21	40
セキレイ科	ハクセキレイ							1	1
	セグロセキレイ					2		3	5
13科	38種	83	90	167	183	899	1975	1817	5214
外来種	コブハクチョウ	7	7	6	1	7	1	1	30

調査日：2025年6月18日、7月17日、8月22日、9月19日、10月15日、11月19日、12月10日



カルガモ (6月)



アオサギ (7月)



ダイサギ (8月)



ミサゴ (10月)



カワセミ (11月)